

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												チクングニヤウイルス感染	毎日新聞 2007年1月24日 東京夕刊	厚生労働省は24日、スリランカから帰国した30歳代の女性が、チクングニヤ熱に感染していたと発表した。国内で日本人の感染が確認されたのは初めてである。この女性は昨年11月中旬、スリランカで発熱し、現地でチクングニヤ熱かデング熱と診断された。女性はすでに症状は回復し、在住するスリランカに戻っている。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Proc Natl Acad Sci USA 2007; 104: 1965-1970	スクレイピー-22L株に感染した神経芽細胞腫細胞およびFLUクロイツフェルトヤコブ病病原体に感染した褥床下部GT細胞は直交配列で高密度な25nmウイルス様粒子を示した。この粒子は膜に囲まれた不完全結晶で、A型レトロウイルス粒子クワスタターや異常PrP原線維とは別に存在し、形態学的にも異なっていた。またPrP抗体でラベルされず、ホルボールエステル処理で増加しなかったことから、プリオンではなかった。この粒子は後期PrP脳病変を誘発するTSE原因ビリオンである可能性がある。
												ウエストナイルウイルス感染	Hoy Digital エストレマドゥーラ新聞 2007年3月21日	ABC新聞は昨日、スペイン国内初のナイルウイルス感染者の診断結果を発表した。21歳男性が2004年にバリエルデ・デ・レガネースで蚊に刺され感染した。発見者の研究グループはナイルウイルスの研究を2003年から始め、3年間、病院で検出されたウイルス性脳膜炎や髄膜炎の症例からナイルウイルスを探し、この症例を発見した。
256	2007/06/13	70256	永井製薬	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘液	中国	有効成分	有	無	無	インフルエンザ	QDC INFLUENZA (FLU) 2006年12月6日	ブタインフルエンザに関するQ&A。ブタインフルエンザはA型インフルエンザであり、ブタにおいてインフルエンザのアウトブレイクを引き起こす。通常、ヒトには感染しないが、散発的にヒトでの感染が発生する。ここ数年間ではCDCは平均して年に1例のヒト陽性患者からのブタインフルエンザ分離株に関する報告を受け取っている。ブタと直接接触するヒト(例えば、養豚業者)で発生している。ヒトからヒトへ広がった例は稀である。
257	2007/06/15	70257	日本赤十字社	人全血液	人全血液	人血液	日本	有効成分	有	無	有	細菌感染	ABC Newsletter 2007年4月13日 21ページ	2004年度から2006年度にかけて米国食品医薬品局(FDA)に報告された輸血関連副作用による死亡症例数である。3年間の合計は219例で、内訳はTRALI86例(39.3%)、その他の副作用(ABO不適合以外の溶血反応、輸血関連心過負荷、細菌感染、アナフィラキシーなど)67例(30.6%)、細菌感染20例(9.1%)、ABO不適合による溶血反応15例(6.8%)、輸血が原因である可能性が否定できない症例31例(14.2%)となっている。